

令和 2 年日本医学放射線学会定時社員総会（代議員会）議事録

令和2年日本医学放射線学会定時社員総会（代議員会）議事録

日 時 : 令和2年5月8日（金）13:00～14:00

場 所 : 日本医学放射線学会 6階会議室（東京都文京区本郷 5-1-16）

議 長 : 理事長 今井 裕

議 案

第1号議案 令和元年度事業報告、庶務報告および会計書類の承認について

第2号議案 令和2年度事業計画および収支予算書の承認について

第3号議案 令和2年・3年度理事、監事の選任について

第4号議案 第82回総会会長および第57回秋季臨床大会大会長の選任について

第5号議案 令和2年名誉会員について

第6号議案 理事会提案事項 会員資格喪失に関わる会費未納期間の設定について

第7号議案 理事会提案事項

Japanese Journal of Radiology(JJR)の冊子体廃止（完全電子化）について

報告事項 令和元年各賞について

代議員 252 名中、議案の書面決議を行使した者を含めた出席者数は 230 名で、本会は成立することが確認された。また新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、議案の書面決議については令和2年4月16日に開催した令和2年度第2回理事会において、承認がなされたことが報告された。公益社団法人日本医学放射線学会定款第20条の規定により今井裕理事長が議長となり、議事録署名人に阿部修先生が指名された。会議に先立ち令和元年度物故者 18 名に対して黙祷が捧げられ、議事の進行に入った。

・令和元年度監査報告について

吉川公彦監事より、平成31年3月1日から令和2年2月29日までの事業年度の監査報告がなされた。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査した。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業の報告およびその附属明細書について検討し、さらに会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

① 事業報告は法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めた。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令若しくは定款に違反する重大な事実

は認められなかった。

- (2) 計算書類およびその附属明細書類並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めた。

・議案審議

第1号議案 令和元年度事業報告、庶務報告および会計書類の承認について

富山憲幸（庶務担当）理事より、令和元年度事業報告および庶務報告がなされた。

A. 事業報告について

1. 学術講演会の開催

第78回総会を山下康行会長主宰のもとに平成31年4月11日～14日の4日間、パシフィコ横浜（横浜市）において開催した。第55回秋季臨床大会を外山宏大会長主宰のもとに令和元年10月18日～20日の3日間、ウインクあいち（愛知県産業労働センター）において開催した。

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行

名称	Japanese Journal of Radiology (Vol. 37)
型	A4
頁数	約1200頁 / 年
刊行回数	毎月25日発行 (年12回)
部数	約9,200

3. 専門医試験の施行

第30回放射線科認定医認定試験を施行した（令和元年8月23日）。

第28回放射線診断専門医認定試験を施行した（令和元年8月23日、24日）。

第28回放射線治療専門医認定試験を施行した（令和元年8月23日、24日）。

第8回放射線科専門医認定試験を施行した（令和元年8月23日）。

4. 各賞受賞者の選定

JJR 最優秀論文賞および JJR 優秀論文賞、JJR 研究継続奨励賞、JJR Most often cited paper award、JJR Best reviewer award および JJR Excellent reviewer award、優秀論文賞、日本医学放射線学会 Bayer 研究助成、板井研究奨励賞、栗林研究奨励賞を選定した。

5. 関連学術集会

地方会（各地方毎に年数回）、第48回断層映像研究会、第33回胸部放射線研究会、第32回頭頸部放射線研究会、第31回日本骨軟部放射線研究会、第29回日本救急放射線研究会、第32回電子情報研究会・第2回日本医用画像人工知能研究会合同学術集会、第89、90回日本心臓血管放射線研究会、第39回神経放射線ワークショップ、第56回アイソトープ・放射線研究発表会等を開催あるいは共催した。

B. 庶務報告について

1. 平成31年定時社員総会（代議員会）開催日および場所

平成31年定時社員総会（代議員会）を、平成31年4月11日にパシフィコ横浜会議センター301室で行った。

2. 理事会、監事会、委員会の開催

- ・理事会は平成 31 年 3 月 22 日、4 月 11 日、令和元年 5 月 23 日、6 月 27 日、7 月 24 日、8 月 24 日、9 月 26 日、10 月 18 日、11 月 27 日、12 月 19 日、令和 2 年 1 月 23 日、2 月 20 日の計 12 回行った。また監事会を 1 回行った。
- ・委員会等は放射線科専門医制度委員会 4 回、教育委員会 2 回、編集委員会 2 回、学術・研究委員会 2 回、診療・ガイドライン委員会 2 回、医療安全管理委員会 1 回、放射線安全管理委員会 2 回、造影剤安全性委員会 2 回、電子情報委員会 1 回、保険委員会 2 回、広報委員会 2 回、画像適正使用委員会 1 回、QIBA（定量画像の標準化）委員会 2 回、医用画像人工知能委員会 2 回、ダイバーシティ推進・働き方改革検討委員会 1 回を行った。

3. 現在会員数（令和 2 年 2 月末日現在）

平成 30 年年度末会員	9,693 名
令和元年年度末会員	9,806 名（新入会員数を含む）
令和元年度新入会員	237 名
令和元年度退会者	105 名
令和元年度物故会員	18 名
令和元年度団体会員	66 社（購読会員含む）

4. 関連学術団体との連絡協調

日本医学会、日本医学会連合、内保連、外保連、日本医師会疑義解釈委員会、日本専門医機構、放射線治療品質管理機構に委員を派遣すると共に、医学発展のための各種問題につき相互に連絡を取った。

C. 令和元年度会計書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）の承認について（別表 1）

金澤右（会計担当）理事より、公益社団法人日本医学放射線学会定款第 45 条第 2 項の規定により、会計書類のうち「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「財産目録」について、報告がなされた。

D. 令和元年度収支計算書について（別表 2）

金澤右（会計担当）理事より、令和元年度収支計算書について、報告がなされた。収支計算書は公益社団法人化に伴い作成が義務付けられている会計書類からは除外されているが、以前からの会計報告との連続性に鑑み報告された。

以上の報告を受け、議長今井裕理事長が第 1 号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行使した者を含めた承認数が 229 名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

第 2 号議案 令和 2 年度事業計画および収支予算書の報告について

議長今井裕理事長より、当法人は平成 24 年 3 月 1 日より公益社団法人となり、事業計画および予算については、公益社団法人日本医学放射線学会定款第 43 条の規定により、理事会の承認を受けたのち、内閣府に事業年度開始日の前日までに報告しなければならないことになっているため、令和 2 年度の事業計画および収支予算書については、令和 2 年 2 月 20 日開催の理事会で承認され、令和 2 年 2 月 26 日に内閣府に提出している旨の報告が

なされた。

続いて富山憲幸（庶務担当）理事より、令和2年度事業計画について報告がなされた。

A. 令和2年度事業計画について

1. 第79回総会を青木茂樹会長主宰のもとに令和2年5月15日～6月5日の期間、Web等を活用して開催する。第56回秋季臨床大会を青木昌彦大会長主宰のもとに令和2年9月25日～27日の3日間、名古屋国際会議場（名古屋市）において開催する。

2. 医学放射線に関する学術図書等の刊行

名称	Japanese Journal of Radiology (Vol. 38)
型	A4
頁数	約1200頁/年
刊行回数	毎月25日発行（年12回）
部数	約9,200

3. 専門医試験の施行

第31回放射線科認定医認定試験を施行（令和2年8月28日）。

第9回放射線科専門医認定試験を施行（令和2年8月28日）。

第29回放射線診断専門医認定試験を施行（令和2年8月28日、29日）。

第29回放射線治療専門医認定試験を施行（令和2年8月28日、29日）。

4. 各賞受賞者の選定

JJR 最優秀論文賞および JJR 優秀論文賞、JJR 研究継続奨励賞、JJR Most often cited paper award、JJR Best reviewer award および JJR Excellent reviewer award、優秀論文賞、日本医学放射線学会 Bayer 研究助成、板井研究奨励賞、栗林研究奨励賞の受賞者の選定を行う。

5. 関連学術集会の開催あるいは共催

地方会（各地方毎に年数回）、第49回断層映像研究会、第34回胸部放射線研究会、第33回頭頸部放射線研究会、第32回骨軟部放射線研究会、第30回救急放射線研究会、第33回電子情報研究会・第3回日本医用画像人工知能研究会合同学術集会、第91、92回日本心臓血管放射線研究会、第40回神経放射線ワークショップ、第57回アイソトープ・放射線研究発表会等を開催あるいは共催する。

B. 令和2年度収支予算書について（別表3）

金澤右（会計担当）理事より、令和2年度の収支予算書について報告がなされた。

以上の報告を受け、議長今井裕理事長が第2号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行使した者を含めた承認数が230名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

第3号議案 令和2年・3年度理事、監事の選任について

議長今井裕理事長より、平成30年・平成31年・令和元年の理事および監事の全員が、公益社団法人日本医学放射線学会定款第28条の規定により本定時社員総会の終結の時をもって任期満了となり退任する旨報告がなされた。また令和2年・3年度の理事選挙、監事選挙において新任の理事18名、監事3名が次のとおり選出され、理事会の承認を得たことが報告された。

1. 令和2年・3年度理事選挙選出者（18名）

青木茂樹先生、阿部 修先生、栗井和夫先生、金澤 右先生、蒲田敏文先生、
工藤與亮先生、興梠征典先生、茂松直之先生、陣崎雅弘先生、高瀬 圭先生、
立石宇貴秀先生、富山憲幸先生、永田 靖先生、長縄慎二先生、村上卓道先生、
村山貞之先生、山田 恵先生、吉浦 敬先生

2. 令和2年・3年度監事選挙選出者（3名）

吉川公彦先生、根本建二先生、三木幸雄先生

以上の報告を受け、議長今井裕理事長が第3号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行使した者を含めた承認数が230名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

第4号議案 第82回総会会長および第57回秋季臨床大会大会長の選任について

議長今井裕理事長より、公益社団法人日本医学放射線学会定款第37条4項により、日本医学放射線学会総会の運営を統括する「会長」および日本医学放射線学会秋季臨床大会の運営を統括する「秋季臨床大会長」は、それぞれ理事会の推薦に基づき社員総会において正会員の中から選任する旨報告がなされ、日本医学放射線学会第82回（令和5年度）総会会長および日本医学放射線学会第57回（令和3年）秋季臨床大会大会長として、次のとおり推薦された。

1. 日本医学放射線学会第82回総会会長の理事会推薦者

栗井 和夫先生（広島大学大学院医系科学研究科 放射線診断学研究室）

2. 日本医学放射線学会第57回秋季臨床大会大会長の理事会推薦者

谷川 昇先生（関西医科大学放射線科学講座）

以上の報告を受け、議長今井裕理事長が第4号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行使した者を含めた承認数が230名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

第5号議案 令和2年名誉会員について

議長今井裕理事長より、公益社団法人日本医学放射線学会定款細則第5条の規定により名誉会員の推薦は、理事会の決議を得て、社員総会の承認を受けなければならない旨報告がなされ、令和2年国内名誉会員および海外名誉会員として、次のとおり推薦された。

1. 国内名誉会員の理事会推薦者（2名）

佐藤 守男先生

宍戸 文男先生

2. 海外名誉会員の理事会推薦者（3名）

Jean-Luc Drapé, M.D. (Department of Radiology B, Hospital Cochin, France)

Anthony James Barkovich, M.D. (University of California, U.S.A.)

Denis Le Bihan, M.D. (NeuroSpin, France)

以上の報告を受け、議長今井裕理事長が第5号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行使した者を含めた承認数が230名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

第6号議案 理事会提案事項 会員資格喪失に関わる会費未納期間の設定について

議長今井裕理事長より、次の定款細則変更について説明がなされた。なお本変更は公益社団法人日本医学放射線学会定款10条第2項(4)の「会費を別に細則に定める年数以上支払わず支払いの催告に応じないとき」に規定される定款細則の変更に該当するため、定款変更は不要であることが報告された。

（定款細則）

定款細則第4条 この法人の会費は、次のとおりとする。

入会金 5,000 円

正会員 年額 15,000 円

賛助会員 年額 50,000 円（1口）

2 賛助会員は、学術集会に参加することができる。また、随時この法人の活動に関する情報を提供される。

（以下のとおり、会費未納期間を追加）

3 会費を理由なく3年以上支払わず、支払いの催告に応じないときは退会とする。

（定款細則に第4条3項を追加することに伴う附則の変更と追記）

変更前：この定款施行細則は、定款変更について内閣府の認可のあった日から施行する。

変更後：この定款細則は、定款変更について内閣府の認可のあった平成24年3月1日から施行する。

追記：令和2年5月8日一部改訂

以上の説明を受け、議長今井裕理事長が第6号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行使した者を含めた承認数が230名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

第7号議案 理事会提案事項

Japanese Journal of Radiology(JJR)の冊子体廃止（完全電子化）について

【編集委員会】委員長興梠征典理事より、冊子体廃止の理由として①オンライン掲載は冊子体の発行に比べて速く、またネット環境があればいつでもどこでも読めるため、多くの会員が冊子体をほぼ読まないのが現状。②冊子体をなくすことにより、出版や郵送の経費を削減できるほか、環境負荷を減らすことができる、提案事項として③2021年1月号より原則JJRの冊子体を廃止する、④特段の理由により冊子体の継続を希望する会員があればごく小人数の場合に限り、当面の間、別途費用の個人負担により対応可能とする。

⑤電子版 JJR の発刊、会告等の通知は、日本医学放射線学会のホームページやメールマガジンによりタイムリーに情報発信を行うとの説明がなされた。

以上の説明を受け、議長今井裕理事長が第 7 号議案の承認について議場に諮り、書面決議を行行使した者を含めた承認数が 229 名となり、出席した代議員の議決権の過半数を満たしたことから、これを承認した。

報告事項 令和元年各賞について

A. Japanese Journal of Radiology (JJR)関係

1. JJR 優秀論文賞 (4 名：領域別)

診断領域

- ・北島 一宏先生 兵庫医科大学放射線医学教室

Imaging of renal cell carcinoma in patients with acquired cystic disease of the kidney: comparison 11C-choline and FDG PET/CT with dynamic contrast-enhanced CT (Japanese Journal of Radiology. 2019; 37(2): 165-177.)

- ・野村 行弘先生

東京大学医学部附属病院コンピュータ画像診断学／予防医学講座

Can the spherical gold standards be used as an alternative to painted gold standards for the computerized detection of lesions using voxel-based classification? (Japanese Journal of Radiology. 2019; 37(3): 264-273.)

IVR 領域

- ・長谷川 貴章先生 愛知県がんセンター放射線診断・IVR 部

Radiofrequency ablation versus cryoablation for T1b renal cell carcinoma: a multi-center study (Japanese Journal of Radiology. 2018; 36(9): 551-558.)

核医学領域

- ・該当なし

放射線治療・物理領域

- ・宇藤 恵先生 京都大学医学部附属病院放射線治療科

Single-isocenter volumetric-modulated Dynamic WaveArc therapy for two brain metastases (Japanese Journal of Radiology. 2019; 37(8): 619-625.)

2. JJR 最優秀論文賞

- ・森 菜緒子先生 東北大学放射線診断科

Perfusion contrast-enhanced ultrasound to predict early lymph-node metastasis in breast cancer (Japanese Journal of Radiology. 2019; 37(2): 145-153.)

3. JJR 研究継続奨励賞

- ・八坂 耕一郎先生 東京大学医科学研究所附属病院放射線科

- ・Deep learning with convolutional neural network in radiology

(Japanese Journal of Radiology. 2018; 36(4): 257-272.)

- ・Single-energy metal artifact reduction for helical computed tomography of the pelvis in patients with metal hip prostheses

(Japanese Journal of Radiology. 2016; 34(9): 625-32.)

- Comparison of new and conventional versions of model-based iterative reconstruction in reduced-dose computed tomography for diagnosis of hepatic steatosis (Japanese Journal of Radiology. 2016; 34(5): 339-48.)

4. JJR Most often cited paper award

- 八坂 耕一郎先生 東京大学医科学研究所附属病院放射線科
Deep learning with convolutional neural network in radiology
(Japanese Journal of Radiology. 2018; 36(4): 257-272.)

5. JJR Excellent reviewer award (8 名)

- Khin Khin THA 先生 北海道大学医学研究院医理工学グローバルセンター
- 井上 明星先生 メイヨークリニック、ロチェスター 放射線科
- 大田 英揮先生
東北大学大学院医学系研究科先進 MRI 共同研究講座 (東北大学病院放射線診断科)
- 佐藤 洋造先生 愛知県がんセンター放射線診断・IVR 部
- 鶴丸 大介先生 九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野
- 中島 崇仁先生 群馬大学医学部附属病院放射線部
- 西井 達矢先生 国立循環器病研究センター放射線部
- 藤永 康成先生 信州大学医学部画像医学教室

6. JJR Best reviewer award (2 名)

- 岡田 卓也先生 神戸大学医学部附属病院放射線診断・IVR 科
- 高木 治行先生 兵庫医科大学放射線科

B. 優秀論文賞 (2 名)

- 植田 大樹先生 大阪市立大学大学院医学研究科放射線診断学・IVR 学教室
Deep Learning for MR Angiography: Automated Detection of Cerebral Aneurysms
(Radiology. 2019; 290(1): 187-194.)
- 太田 靖利先生 国立循環器病研究センター病院放射線部
Myocardial Delayed Enhancement CT for the Evaluation of Heart Failure: Comparison to MRI (Radiology. 2018; 288(3): 682-691.)

C. Bayer 研究助成 (5 名)

- 井上 実先生 京都大学医学部附属病院放射線治療科
プレシジョン放射線治療の実現を見据えた機械学習によるがん放射線感受性予測法の開発
- 尾田 済太郎先生 熊本大学大学院生命科学研究部画像診断解析学
心臓 CT を用いた潜在性心アミロイドーシスの診断法確立に向けた検討
- 岬 沙耶香先生 滋賀医科大学放射線医学講座
自然多発 HER2 陽性乳癌モデルマウスを用いた免疫チェックポイント阻害薬併用によるアブスコパル効果の検討
- 森 美央先生 東京医科歯科大学放射線科
敵対的生成ネットワーク (Generative Adversarial Network : GAN) を用いた乳房 MRI の画像生成と画像診断への応用

- ・山崎 誘三先生

九州大学大学院医学研究院臨床放射線科学分野

二層検出器 CT と人工知能を用いた三次元的な定量的心筋線維化評価法の開発

D. 板井研究奨励賞（2名）

- ・倉田 靖桐先生 京都大学大学院医学研究科放射線医学講座（画像診断・核医学）

Automatic segmentation of the uterus on MRI using a convolutional neural network

(Computers in Biology and Medicine. 2019 Nov;114:103438.)

- ・高橋 宏彰先生 Mayo clinic, Rochester

Indicator for local recurrence of hepatocellular carcinoma after proton beam

therapy: analysis of attenuation difference between the irradiated tumor and liver

parenchyma on contrast enhancement CT

(British Journal of Radiology. 2020 Jan;93(1105):20190375.)

E. 栗林研究奨励賞

1. 心臓血管放射線画像診断領域

高木 英誠先生 東北大学医学系研究科放射線診断学分野／Department of Radiology,

The University of British Columbia

Left Ventricular T1 Mapping during Chemotherapy-Radiation Therapy: Serial

Assessment of Participants with Esophageal Cancer

(Radiology. 2018 Nov;289(2):347-354.)

2. IVR 領域

丸山 晃司先生 兵庫県立姫路循環器病センター放射線科

Advantages of Intraprocedural Unenhanced CT During Adrenal Venous Sampling to

Confirm Accurate Catheterization of the Right Adrenal Vein

(CardioVascular and Interventional Radiology. 2019 Apr;42(4):542-551.)

令和2年日本医学放射線学会定期総会（代議員会）は、終始異状なく議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣言した。

以上の議事の結果を明確にするため本議事録を作成し、出席理事及び出席監事の全員が次ページ以降に記名押印する。

令和2年5月8日

公益社団法人 日本医学放射線学会

2019年度 貸借対照表

2020年2月29日現在

公益社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	428,454	1,330,152	-901,698
銀行預金	251,383,177	296,266,891	-44,883,714
郵便振替貯金	125,356,360	86,887,201	38,469,159
前払金	5,659,200	5,023,052	636,148
仮払金	2,428,202	-	2,428,202
未収金	1,464,335	1,253,519	210,816
流動資産合計	386,719,728	390,760,815	-4,041,087
2 固定資産			
基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	-
基本資産合計	10,000,000	10,000,000	-
特定資産			
特定預金	165,787,941	155,894,193	9,893,748
特定資産合計	165,787,941	155,894,193	9,893,748
その他固定資産			
建物	2,639,200	2,736,400	-97,200
建物附属設備	7,679,103	8,171,258	-492,155
什器備品	4,568,709	6,124,629	-1,555,920
ソフトウェア	5,929,208	8,353,005	-2,423,797
ソフトウェア仮勘定	40,216,081	-	40,216,081
長期貸付金	3,000,000	3,000,000	-
長期預け金	9,053,820	9,053,820	-
その他固定資産合計	73,086,121	37,439,112	35,647,009
固定資産合計	248,874,062	203,333,305	45,540,757
資産合計	635,593,790	594,094,120	41,499,670
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	72,297,996	24,922,775	47,375,221
前受金	1,130,000	10,149,040	-9,019,040
仮受金	790,000	-	790,000
未払法人税等	1,070,400	1,002,500	67,900
未払消費税等	315,800	1,094,500	-778,700
預り金	1,724,647	1,188,970	535,677
流動負債合計	77,328,843	38,357,785	38,971,058
2 固定負債			
退職給付引当金	71,008	71,008	-
固定負債合計	71,008	71,008	-
負債合計	77,399,851	38,428,793	38,971,058
III 正味財産の部			
一般正味財産	558,193,939	555,665,327	2,528,612
(うち特定資産への充当額)	(9,893,748)	(-1,280)	(9,895,028)
正味財産合計	558,193,939	555,665,327	2,528,612
負債及び正味財産合計	635,593,790	594,094,120	41,499,670

2019年度 正味財産増減計算書

自 2019年3月1日 至 2020年2月29日

公益社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 学術振興事業収入	305,070,838	268,156,926	36,913,912
学術総会開催収入	159,993,690	155,339,975	4,653,715
秋季臨床大会開催収入	102,148,221	77,234,847	24,913,374
学術講演会開催収入	37,661,618	32,320,654	5,340,964
学術誌刊行収入	5,267,309	3,261,450	2,005,859
② 教育研究事業収入	69,103,681	67,367,498	1,736,183
専門医認定事業収入	53,839,500	50,300,600	3,538,900
研修教育事業収入	8,910,000	750,000	8,160,000
学術研究事業収入	6,354,181	16,316,898	-9,962,717
③ 一般会計収入	161,337,852	142,103,811	19,234,041
正会員会費収入	147,350,000	130,683,000	16,667,000
賛助会員会費収入	3,950,000	1,850,000	2,100,000
受取利息	6,182	6,638	-456
雑収入	10,031,670	9,564,173	467,497
経常収益計	535,512,371	477,628,235	57,884,136
(2) 経常費用			
① 学術振興事業費	367,869,264	315,925,518	51,943,746
学術総会開催費	144,599,983	121,622,590	22,977,393
秋季臨床大会開催費	104,073,804	79,645,602	24,428,202
学術講演会開催費	50,311,015	43,035,619	7,275,396
学術誌刊行事業費	66,047,606	59,565,243	6,482,363
普及啓発活動事業費	2,836,856	12,056,464	-9,219,608
② 教育研究事業費	102,562,232	90,816,726	11,745,506
専門医認定事業費	62,458,991	63,920,378	-1,461,387
研修教育事業費	8,888,802	3,367,311	5,521,491
学術研究事業費	15,017,850	7,697,860	7,319,990
調査研究事業費	2,557,898	2,312,085	245,813
関連学術団体協力費	13,638,691	13,519,092	119,599
③ 管理費	62,552,263	45,584,856	16,967,407
人件費	25,916,895	15,112,066	10,804,829
会議費	5,502,611	7,208,477	-1,705,866
事務所費	3,069,055	3,057,017	12,038
通信費	2,952,028	1,429,745	1,522,283
旅費交通費	1,696,184	941,141	755,043
消耗品費	4,381,603	3,093,343	1,288,260
光熱水費	796,908	812,745	-15,837
租税公課	2,782,200	3,721,030	-938,830
減価償却費	1,885,105	1,720,745	164,360
機器管理費	22,440	22,032	408
会員管理委託費	2,560,739	4,011,834	-1,451,095
支払手数料	3,520,340	3,948,603	-428,263
選挙費	3,782,449	-	3,782,449
雑費	3,683,706	506,078	3,177,628
経常費用計	532,983,759	452,327,100	80,656,659
当期経常増減額	2,528,612	25,301,135	-22,772,523
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	2,528,612	25,301,135	-22,772,523
一般正味財産期首残高	555,665,327	530,364,192	25,301,135
一般正味財産期末残高	558,193,939	555,665,327	2,528,612
II 指定正味財産増減の部	-	-	-
III 正味財産期末残高	558,193,939	555,665,327	2,528,612

2019年度 財産目録

2020年2月29日現在

公益社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)	現金	現金手許有高 (事務局本邦通貨)	運転資金として	45,762	
		現金手許有高 (事務局外国通貨・858.37米ドル)	運転資金として	93,931	
		現金手許有高 (事務局外国通貨・597.34ユーロ)	運転資金として	71,872	
		現金手許有高 (セミナー会計)	運転資金として	210,000	
		現金手許有高 (関西地方会)	運転資金として	5,750	
	銀行預金	現金手許有高 (中国四国地方会)	運転資金として	1,139	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (一般)	運転資金として	34,747,821	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (会費口)	運転資金として	6,991,459	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (学術総会)	運転資金として	105,885,924	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (研究助成)	運転資金として	5,000,039	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (フランス助成)	運転資金として	3,086,061	
		普通預金 みずほ銀行本郷支店	運転資金として	4,685,229	
		普通預金 みずほ銀行東京中央支店	運転資金として	1,034,290	
		普通預金 三井住友銀行白山支店 (一般)	運転資金として	4,880,635	
		普通預金 三菱UFJ銀行本郷支店 (一般)	運転資金として	252,022	
		普通預金 三菱UFJ銀行本郷支店 (セミナー)	運転資金として	3,440,651	
		普通預金 三菱UFJ銀行茨木支店 (AOSOR会計)	運転資金として	977,003	
		普通預金 ゆうちょ銀行八ー八支店 (北日本)	運転資金として	1,524,140	
		普通預金 三菱UFJ銀行虎ノ門支店 (関東)	運転資金として	5,846,973	
		普通預金 ゆうちょ銀行二ー八支店 (中部)	運転資金として	641,356	
		普通預金 枚方信用金庫本店営業部 (関西)	運転資金として	3,632,394	
		普通預金 トマト銀行大供支店 (中国四国)	運転資金として	1,535,233	
		普通預金 福岡銀行県庁内支店 (九州)	運転資金として	2,240,338	
		普通預金 ゆうちょ銀行 (167回中部)	運転資金として	2,143,072	
		普通預金 三井住友銀行名古屋駅前支店 (55回秋季大会)	運転資金として	50,726,870	
	郵便振替貯金	定期預金 三井住友銀行白山支店	運転資金として	12,111,667	
		郵便振替 (一般00150-5-757915)	運転資金として	26,140,911	
		郵便振替 (一般00140-1-172840)	運転資金として	20,730,003	
		郵便振替 (専門医更新料)	運転資金として	78,485,446	
	前払金	学術集会・地方会開催準備金	学術振興事業の開催準備費用他前払分	5,400,000	
		旅費前払金	教育研究事業の前払分	259,200	
	仮払金	支払精算未済分	関東地方会セミナー中止分他精算未済分	2,428,202	
	未収金	印税他期末未収分	教育研究事業の印税の未収分他	895,332	
		年会費未入金分	年会費回収分の未入金分	569,003	
流動資産合計				386,719,728	
(固定資産)	基本財産	定期預金	三菱UFJ銀行 本郷支店	10,000,000	
		特定預金	普通預金 みずほ銀行根津支店 (板井研究奨励賞引当預金)	3,726,500	
	特定資産	普通預金 みずほ銀行根津支店 (カイトラン作成基金引当預金)	教育研究事業の積立資産として管理されている預金	11,330,770	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (専門医認定基金引当預金)	教育研究事業の積立資産として管理されている預金	69,782,871	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (放射線科啓蒙活動基金引当預金)	教育研究事業の積立資産であり、資産取得資金として管理されている預金	6,831,913	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (国際交流基金引当預金)	学術振興事業の積立資産であり、特定費用準備資金として管理されている預金	48,883,161	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (栗林賞引当預金)	教育研究事業の積立資産として管理されている預金	11,997,888	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (学会HP作成基金引当預金)	教育研究事業の積立資産として管理されている預金	7,235,319	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (調査・研究基金引当預金)	教育研究事業の積立資産として管理されている預金	5,999,502	
		普通預金 みずほ銀行根津支店 (退職給与引当預金)	教育研究事業の積立資産として管理されている預金	17	
	その他の固定資産	建物	赤門アビタシオン301	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	2,639,200
		建物附属設備	赤門アビタシオン水洗トイレ	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	129,174
			赤門アビタシオン室内改装	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	3,114,592
			赤門アビタシオンパーチカルブラインド	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	5
			赤門アビタシオン屋根・外壁・外廊下・軒裏等改修	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	2,441,260
		赤門アビタシオン電気設備工事	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	30,772	
		事務局内装	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	682,248	
		事務局会議室パーテーション	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	687,750	
		事務局電気設備	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	384,226	
		事務局LAN設備	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設として使用している。	209,076	
		什器備品	赤門アビタシオンクーラー	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1
			赤門アビタシオンステンレス看板	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1
			赤門アビタシオンセントラルヒーティング	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1
			赤門アビタシオン書庫	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	45,492
			赤門アビタシオン移動ラック	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	149,201
			赤門アビタシオンクーラー	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
	什器備品	事務局事務所机・椅子・書庫等一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	563,250	
		事務局事務所電話設備一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	7,353	
		事務局ビル書棚	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	55,691	
		プロジェクターEMP-1826SP	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1	
		専門医画像配信用サーバー	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1	
		事務局収納器具一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1,234,033	
		事務局収納棚一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	305,063	
		事務局収納庫	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	201,802	
		事務局会議室映像システム一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1	
		事務局会議室ワイヤレスマイクシステム一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	83,420	
		事務局電話設備一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	123,225	
		事務局事務所机・椅子増設分一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	352,967	
		事務局耐火金庫	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	226,591	
		事務局ノートＰＣ一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	1,098,344	
		事務局シュレッダー	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の備品として使用している。	36,720	
		医用画像人工知能研究会ホームページ作成費	公益目的保有財産であり、教育研究事業の備品として使用している。	37,422	
		J-QIBAホームページ作成費	公益目的保有財産であり、教育研究事業の備品として使用している。	48,126	
		北日本地方会ＰＣ一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業の備品として使用している。	1	
		北日本地方会3eAnalyzer一式	公益目的保有財産であり、学術振興事業の備品として使用している。	1	
	ソフトウェア	専門医e-learningシステム作成費	公益目的保有財産であり、教育研究事業のシステムとして使用している。	416,250	
		事務局システム入金登録ツール作成費	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業のシステムとして使用している。	990,000	
		用語集システム改修費	公益目的保有財産であり、教育研究事業のシステムとして使用している。	1,142,100	
		専門医プロモーション映像作成費	公益目的保有財産であり、教育研究事業のシステムとして使用している。	293,750	
		専門医カード受付システム改修費	公益目的保有財産であり、教育研究事業のシステムとして使用している。	2,906,064	
		web会議システム導入費用	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業のシステムとして使用している。	181,044	
		ソフトウェア仮勘定	専門医システム開発費	公益目的保有財産であり、教育研究事業のシステムとして使用する予定である。	40,216,081
		長期貸付金	日本専門医機構	機構の運営資金として	3,000,000
		長期預け金	一般社団法人日本ラジオロジー協会設立基金	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の基金差入分である。	1,000,000
			一般社団法人日本I H E協会設立基金	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の基金差入分である。	500,000
			事務局敷金	公益目的保有財産であり、学術振興事業及び教育研究事業の施設の保証金差入分である。	7,553,820
固定資産合計			248,874,062		
資産合計			635,593,790		
(流動負債)	未払金	期末諸費用未払分（学術振興事業）	学術振興事業の諸経費未払分	64,892,938	
		期末諸費用未払分（教育研究事業）	教育研究事業の諸経費未払分	6,735,280	
		期末諸費用未払分（管理費）	管理費の諸経費未払分	669,778	
		次年度施設認定料	教育研究事業の施設認定収入の前受分	1,130,000	
	前受金	返金精算未済分	関東地方会セミナー中止分他精算未済分	790,000	
	仮受金	本郷税務署・東京都千代田都税事務所	当年度確定法人税等	1,070,400	
	未払法人税等	本郷税務署	当年度確定消費税等	315,800	
		未払消費税等	本郷税務署・各市区町村	事務職員他源泉所得税・住民税預り金	882,240
	預り金	損害保険ジャパン日本興亜	医師賠償責任保険預り金	842,407	
	流動負債合計			77,328,843	
	(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員に対する退職金の支払に備えたもの	71,008
固定負債合計			71,008		
負債合計			77,399,851		
正味財産			558,193,939		

2019年度 収支計算書

自 2019年3月1日 至 2020年2月29日

公益社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
収入の部			
1. 学術振興事業収入	212,700,000	305,070,838	92,370,838
学術総会開催収入	120,000,000	159,993,690	39,993,690
秋季臨床大会開催収入	50,000,000	102,148,221	52,148,221
学術講演会開催収入	36,200,000	37,661,618	1,461,618
学術誌刊行収入	6,500,000	5,267,309	-1,232,691
2. 教育研究事業収入	97,500,000	69,103,681	-28,396,319
専門医認定事業収入	70,000,000	53,839,500	-16,160,500
研修教育事業収入	11,000,000	8,910,000	-2,090,000
学術研究事業収入	16,500,000	6,354,181	-10,145,819
3. 一般会計収入	139,800,000	161,337,852	21,537,852
正会員会費収入	126,000,000	147,350,000	21,350,000
賛助会員会費収入	4,000,000	3,950,000	-50,000
受取利息	50,000	6,182	-43,818
雑収入	9,750,000	10,031,670	281,670
4. 特定預金取崩収入	-	37,559,276	37,559,276
板井賞基金積立預金取崩収入	-	502,052	502,052
ガイドライン基金積立預金取崩収入	-	6,579,988	6,579,988
専門医認定基金積立預金取崩収入	-	29,973,888	29,973,888
放射線科啓蒙活動基金積立預金取崩収入	-	324	324
国際交流基金積立預金取崩収入	-	324	324
栗林賞基金積立預金取崩収入	-	502,052	502,052
学術HP作成基金積立預金取崩収入	-	324	324
調査・研究基金積立預金取崩収入	-	324	324
当期収入合計	450,000,000	573,071,647	123,071,647
前期繰越収支差額	352,403,030	352,403,030	-
収入合計	802,403,030	925,474,677	123,071,647

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
支出の部			
1. 学術振興事業費	269,500,000	367,628,111	-98,128,111
学術総会開催費	98,000,000	144,599,983	-46,599,983
秋季臨床大会開催費	50,000,000	104,073,804	-54,073,804
学術講演会開催費	46,200,000	50,069,862	-3,869,862
学術誌刊行事業費	68,300,000	66,047,606	2,252,394
普及啓発活動事業費	7,000,000	2,836,856	4,163,144
2. 教育研究事業費	130,700,000	99,939,645	30,760,355
専門医認定事業費	85,600,000	60,213,552	25,386,448
研修教育事業費	11,500,000	8,597,202	2,902,798
学術研究事業費	12,600,000	15,017,850	-2,417,850
調査研究事業費	5,000,000	2,472,350	2,527,650
関連学術団体協力費	16,000,000	13,638,691	2,361,309
3. 管理費	48,800,000	60,667,158	-11,867,158
人件費	15,000,000	25,916,895	-10,916,895
会議費	7,000,000	5,502,611	1,497,389
事務所費	1,200,000	3,069,055	-1,869,055
通信費	5,000,000	2,952,028	2,047,972
旅費交通費	500,000	1,696,184	-1,196,184
消耗品費	2,000,000	4,381,603	-2,381,603
光熱水費	1,000,000	796,908	203,092
租税公課	3,000,000	2,782,200	217,800
機器管理費	200,000	22,440	177,560
会員管理委託費	4,000,000	2,560,739	1,439,261
支払手数料	6,000,000	3,520,340	2,479,660
雑費	500,000	3,683,706	-3,183,706
4. 備品購入等支出	1,000,000	40,395,854	-39,395,854
備品購入支出	1,000,000	179,773	820,227
ソフトウェア購入支出	-	40,216,081	-40,216,081
5. 特定預金積立支出	-	47,453,024	47,453,024
板井賞基金積立預金支出	-	33	-33
ガイドライン基金積立預金支出	-	152	-152
専門医認定基金積立預金支出	-	17,452,196	-17,452,196
放射線科啓蒙活動基金積立預金支出	-	58	-58
国際交流基金積立預金支出	-	30,000,372	-30,000,372
栗林賞基金積立預金支出	-	101	-101
学術HP作成基金積立預金支出	-	62	-62
調査・研究基金積立預金支出	-	50	-50
当期支出合計	450,000,000	616,083,792	-166,083,792
当期収支差額	-	-43,012,145	-43,012,145
次期繰越収支差額	352,403,030	309,390,885	-43,012,145

令和2年度 収支予算書

自 令和2年3月1日 至 令和3年2月28日

公益社団法人 日本医学放射線学会

単位：円

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 学術振興事業収入	212,700,000	212,700,000	-
学術総会開催収入	120,000,000	120,000,000	-
秋季臨床大会開催収入	50,000,000	50,000,000	-
学術講演会開催収入	36,200,000	36,200,000	-
学術誌刊行収入	6,500,000	6,500,000	-
② 教育研究事業収入	95,500,000	97,500,000	-2,000,000
専門医認定事業収入	78,000,000	70,000,000	8,000,000
研修教育事業収入	1,000,000	11,000,000	-10,000,000
学術研究事業収入	16,500,000	16,500,000	-
③ 一般会計収入	148,800,000	139,800,000	9,000,000
正会員会費収入	135,000,000	126,000,000	9,000,000
賛助会員会費収入	4,000,000	4,000,000	-
受取利息	50,000	50,000	-
雑収入	9,750,000	9,750,000	-
経常収益計	457,000,000	450,000,000	7,000,000
(2) 経常費用			
① 学術振興事業費	265,500,000	269,500,000	-4,000,000
学術総会開催費	98,000,000	98,000,000	-
秋季臨床大会開催費	50,000,000	50,000,000	-
学術講演会開催費	46,200,000	46,200,000	-
普及啓発活動事業費	3,000,000	7,000,000	-4,000,000
② 教育研究事業費	133,500,000	130,700,000	2,800,000
専門医認定事業費	86,000,000	85,600,000	400,000
研修教育事業費	11,500,000	11,500,000	-
学術研究事業費	15,000,000	12,600,000	2,400,000
調査研究事業費	5,000,000	5,000,000	-
関連学術団体協力費	16,000,000	16,000,000	-
③ 管理費	58,000,000	49,800,000	8,200,000
人件費	24,000,000	15,000,000	9,000,000
会議費	8,500,000	7,000,000	1,500,000
事務所費	1,200,000	1,200,000	-
通信費	5,000,000	5,000,000	-
旅費交通費	500,000	500,000	-
消耗品費	2,000,000	2,000,000	-
光熱水費	1,000,000	1,000,000	-
租税公課	3,000,000	3,000,000	-
減価償却費	1,000,000	1,000,000	-
機器管理費	200,000	200,000	-
会員管理委託費	4,000,000	4,000,000	-
支払手数料	6,000,000	6,000,000	-
選挙費	-	3,400,000	-3,400,000
雑費	1,600,000	500,000	1,100,000
経常費用計	457,000,000	450,000,000	7,000,000
当期経常増減額	-	-	-
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	-	-	-
(2) 経常外費用	-	-	-
経常外費用計	-	-	-
当期経常外増減額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	-	-	-
一般正味財産期首残高	555,665,327	530,364,192	25,301,135
一般正味財産期末残高	555,665,327	530,364,192	25,301,135
II 指定正味財産増減の部	-	-	-
III 正味財産期末残高	555,665,327	530,364,192	25,301,135